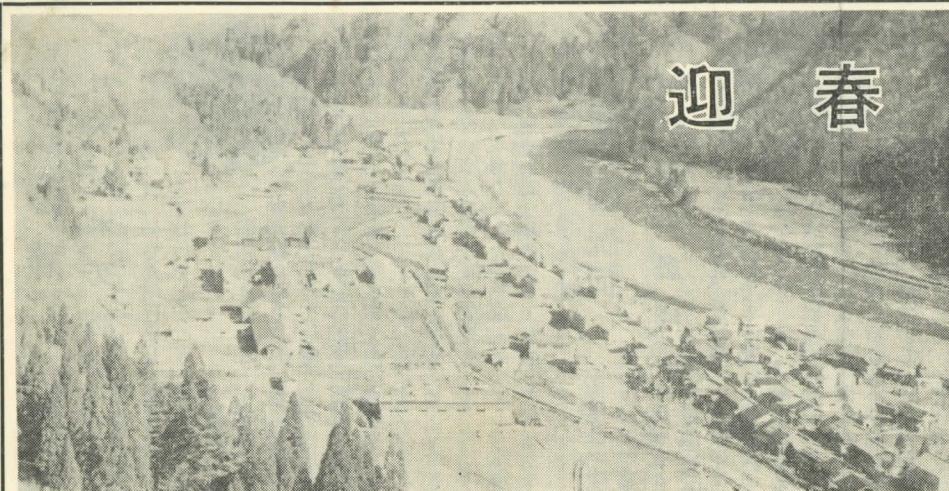


## 迎春



## 越美北線の延長工事 勝原でくい打ち式挙行さる

和泉村民が待ち望んでいた国鉄越美北線勝原—朝日間十三・七キロの着工くい打ち式は昨年十一月十八日大野市勝原で政府本鐵道建設公団の各代表者、県からは同線期成同盟会長の北知事をはじめ沿線の各市町村長議員など三百五十人が出席して盛大に行なわれた。この延長で飛躍的な発展が期待される和泉村から木越美北線促進委員長の話

務、山元からは永松所長らが出席した。家木越美北線促進委員長の話あつたくい打ち式が行なわれたことは、誠にうれしく思います。まだ肝心の来年度の予算が決まっておりませんのでこれから予算獲得がたいへんです。工費二十五億円のうち新年度の二億円位、四十一年度に十億円、四十二年度に十億円、十四年度に残額獲得できるとすれば、同年内に営業開始できることになります。もし、各年度に五億円ずつという

躍動を続ける朝日部落

（写真は息吹も新たに）

43年には営業開始か

長い間の念願で、山元からは永松所長らが出席した。家木越美北線促進委員長の話あつたくい打ち式が行なわれたことは、誠にうれしく思います。まだ肝心の来年度の予算が決まっておりませんのでこれから予算獲得がたいへんです。工費二十五億円のうち新年度の二億円位、四十一年度に十億円、四十二年度に十億円、十四年度に残額獲得できるとすれば、同年内に営業開始できることになります。もし、各年度に五億円ずつという



写真 上はくい打ち式の会場  
下は祝賀会の万歳



発行所  
福井県大野郡和泉村



(11月末日現在)

村の人口	※50人
出生	※23人
死亡	62人
入出	220人
出死	4,648人
転入	2,916人
転出	2,332人
人口	1,222人
男	50人
女	2,332人
世帯数	1,222人

(※は4月～12月)

村の面積  
992.26平方km

### 今月の目標

- 1、一年の計は元旦にあり、一家団らんの中に今年の計画を立てましょう。
- 2、健全娯楽で正月を過しましょう。

### 村議会

和泉村議会第34回定例会は、

去る十二月二十一、二十二日の

両日召集され、八つの議案がそ

れぞれ原案どおり可決されました。

十二月十三日で任期満了の助役には前助役宇野重豊氏（再）が、収入役には（任期は本年二月だが定例会が三月までないことと、降雪を予測して事前承認する）平野勇氏（再）を。又監査委員伊藤操氏が水没移住で辞任された為後に朝日、表正一氏（穴馬農協長）をそれぞれ選任。

更に診療所及び伝染病棟新築工事を金二千五百五十万円にて、福井市株式会社山形組と契約することを承認しました。統いて

一般会計補正額一六、一二三千円

下穴馬診療所事業特別会計補正額二〇〇千円。

電源開発対策協議会特別会計補正額一〇〇〇千円。

をそれぞれ原案どおり可決しました。

### 有権者は二八一四名

昨年九月十五日現在調整の基本選舉人名簿は、十一月五日から十五日間縦覧しましたが十二月二十日和泉村選舉管理委員会が招集され次のように確定しました。なお同十月二十五日執行された村長選挙のため整理名簿に登載された者二十五名を含みます。

男 一、三八六名  
女 一、四二八名  
計 二、八一四名

助役に 平野 勇氏（再）  
収入役に 宇野 重豊氏（再）



声の広場

◎ あわただしいこのまことに昭和四十年の新春を迎えた。開発工事に先立ち既に各地に新天地を求めて移住された方も多い。住みなれた山野を捨てて他郷に居を構え職を求める心境は如何ばかりかと御同情に堪えない。

時代からの名残を後生につたえる村史の編集が此の度大大的に開始されることになつたとのこと誠に結構なことと喜こびに堪えない。郷土の古老や招いた学者の知識や調査を中心にして、又関係業者や一般の全面的な御協力を得て村当局の計画を推進していただきたい。この際、一般は、貴重な文化物を

次代の子供のために

和泉村教育委員会

小林一夫

子供は埋蔵されている豊かな地下資源にたどることもできます。掘り出されねば、そのねうちをだし社会に役立つこともできません。ダイヤ、金銀石油、石炭等々数多くある中で、どん子も金銀であるわけではありませんが石炭でも社会にはなくてはならないもので、尊いねうちをもつているもので

こういう意味からいつて、この世に生を享けた子供たちの個性を開発してやるのは、親や教師の義務で、親や教師は、優秀な探鉱機でなければ子供たちに申訳げない次第です。自然の風雪

として世にだしますし、流れが鉱業をむきだしにしてくれることもあるようになりますが、このような稀少価値的な存在意義をもつものを、どの子にも期待することは無理で、教育の機会均等の原則は親や教師や、社会に探鉱機としての義務を課していると考えるべきだと思います。

ここで子供たちを地下資源に例えた冒頭のことばは取消さねばならないことがおこつて参りました。すなわち子供たちは、自分で伸びる可能性をどの子も持っているからであります、ただ多くの子供は伸びるものを露頭にだしてもらおう機会を与えるないと、いつ

要は村政に対する関心と信頼に帰する。が、学校教育並びに社会教育に於ても青少年の指導に万全を期し、朝日を中心とする和泉村が悔を千載に残すことのないよう、老若男女一丸となつてこの世紀の大工事が無事元成するよう、村も、業者も、一般も相協力し、平和なぞして豊かな和泉村の将来を祈念するものである。

一 日 婦 人 學 級 開 講

卷之三

# かじか

新しく昭和四十年を迎えて痛感させられることは、私たちの和泉村が本年はいよいよ一大建設事業の檜舞台に立つと言うことであります。待望の越美北線の起工、また奥越電源開発工事などにより、和泉村は洋々たる希望の実現に巨歩を踏み出すわけである。奥越電源開発問題が私たちの話題に上つてより七年有余、既に迎えられたことだろうが、わたしたちすべての人々は、いざこに住もうとも来る年ごとに、楽しく嬉しくお互に良き年を迎える幸福でありたいものであるところでこれら工事着工により、激増する交通量、騒音の昼夜、暴力犯罪の増加、火災などの頻発等、いろいろ不安が続出するとも考えられようが、関係者はこれらの施策に万全をつくしてほしい。なお最近の異常な経済状態あらゆる産業の不振に加えて建設ブームとダムの町へと変りゆくのを思うにつけ、あらゆる物価の上昇は当然予想されることだろう。いまこそわたしたちは、子々孫々迄の生活設計を立て、手始めに、まず今年こそ悔のない堅実な年としたい。私達は過去に共々に伸び悩んだ後進地として数々の地域格差や、其他多くの原因が一日も早く解消されるようになり、文化の発展に遅れない先進地へと飛躍發展するよう念願したい。移住された人々は、祖先のふるさと和泉村の躍進を心から喜んでくれるであろう。

